

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度		
事業番号	117	事業名	地域間交流事業 (中事業名) 地域間交流事業		担当課		観光商工課		
					予算区分（款-項-目-中事業）		2-1-9-5 地域間交流事業		
					決算書ページ		70	一般	
I 基本情報	総合計画	基本目標	5 いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪						
		政策	2 観光交流まちづくりの推進						
		施策	(1) 観光交流スタイルの確立						
	その他	開始年度	—						
		終了予定年度	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働可		
		根拠法令等							
		関連計画	第2次長久手市観光交流基本計画						
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		アウトプット（詳細はⅡへ）		アウトカム（詳細はⅢへ）			
				②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)	
		【対象】 <input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input checked="" type="checkbox"/> 事業者 <input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> その他 対象の数： 約60,000人 【事業内容】 他自治体と地域間を超えた連携を行い、特に長野県南木曽町、兵庫県宝塚市との観光・歴史・文化的資源を生かした市民間及び自治体間の交流を推進します。		【アクションプラン指標】 自治体間相互訪問及び交流件数【累計】 【その他の指標】 交流事業に関与した庁内部局数		・相互自治体間の連携回数が増加する ⇒相互の都市の魅力に触れる機会の創出 (成果指標名) 交流事業件数 長久手市と交流都市が連携して行う事業		大事業共通 市民が長久手市では体験できない交流都市ならではのサービスを受けることができる。	

II活動状況（アウトプットの詳細）

活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ		区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度	
	1	【アクションプラン指標】	件	基準値	5	目標値	6	6	7	7	8	
		自治体間相互訪問及び交流件数		目標値	8	実績	5					
	2	【その他指標】	係	基準値	－	目標値	－	4	5	5	6	
		交流事業に関与した庁内部局数		目標値	－	実績	4					
	3			基準値		目標値						
				目標値		実績						
	4			基準値		目標値						
				目標値		実績						
	エピソード	事業開始の背景	南木曽町は木曽川の水源지가縁で平成18年に交流宣言書の調印を行い、宝塚市は介助犬訓練施設「シンシアの丘」が縁で平成24年に覚書「きずなづくりの誓い」を締結し、交流を開始した。									
		各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由										
		R6	令和6年度は、前年度と同様に（一社）長久手市観光交流協会が主催する長久手楓まつりへ出店してもらい、南木曽町の特産品（木工、五平餅等）のワークショップや販売等を通じて同町をPRすることができた。また、南木曽町で開催された「文化文政風俗絵巻之行列」へ本市職員や観光交流協会職員が参加した。当初は、南木曽町職員との交流事業の実施を想定していたが、実施に至らなかったため、令和7年度の担当者打合せで、今後の交流事業について相互に意向を確認しながら実施方針を整理していく。				R7					
		R8					R9					

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）		単位	成果指標の推移と目標									
		交流事業件数 長久手市と交流都市が連携して行う事業		件	H30 年度		R4 年度		【現状】 R6 年度		R8 年度		R10 年度	
					3		5		5		7		8	
		成果達成状況					指標目標値の根拠							
		B	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている					交流都市と本市との交流の実態を把握するため、行事への参加など、自治体間で行った相互訪問や交流事業及び情報交換した件数を指標とする。						
	評価の理由、分析													
	南木曾町との交流事業は継続的に実施されている。 観光交流イベントへの出店（楓まつり）、文化文政風俗絵巻之行列への参加、出産祝い品（木のおもちゃ）、魚釣り体験等													
	加える変化（ACTION）	今後の方向性		今後の方向性の理由										
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		日本らしさを感じることができることから、南木曾町との交流事業は今後も継続して行っていく。 令和7年度は、ワートルロー市からの姉妹都市訪問団が南木曾町を訪問する予定である。									
		改善ポイント (成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)												
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容								見直し可能年度			
1		宝塚市との連携	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	宝塚市との連携事業は、近年はほとんど実施されていない状況である。南木曾町との連携事業は継続的に実施されているため、宝塚市に関する事業予算を縮小していく。										
2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止												
3		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止												

IV 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）	R8年度の費用（R7年度比）		3年間の推移	(単位：千円)		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度	
		B	A. 拡充 B. 現状維持		事業費	予算	決算	予算	決算	予算		
			C. 縮小 D. 廃止			49	15	49	16	28		
		理由			特定財源	合計額	0	0	0	0	0	
		南木曾町との交流事業（観光交流イベントへの出店、文化文政風俗絵巻之行列への参加等）を継続することで関係性を保ち続ける。				(内 国費)	0	0	0	0	0	
						(内 県費)	0	0	0	0	0	
						(内 諸収入)	0	0	0	0	0	
						(内 その他)	0	0	0	0	0	
		積算額			一般財源		49	15	49	16	28	
		令和7年度と同水準			R7年度予算の内訳 ＜細々節名、 予算額、（R6年度予算額）＞							
			食糧費 8千円（8千円） 普通旅費 10千円（18千円） 道路通行料 10千円（23千円）									